

上塩冶築山古墳出土品の重要文化財指定等について

1 上塩冶築山古墳出土品の重要文化財指定について

上塩冶築山古墳については、冠や大刀、馬具装飾品など県内屈指の豪華さときらびやかさを誇る数多くの出土品が残っており、古墳時代後期（6世紀）、強大な権力者がこの出雲に存在していたことを今に伝えています。

出雲市では、平成27年度から出土品の整理や研究を行い、重要文化財への指定に向けて取り組んでまいりましたが、3月9日の国の文化審議会において、重要文化財に指定するよう答申がなされました。

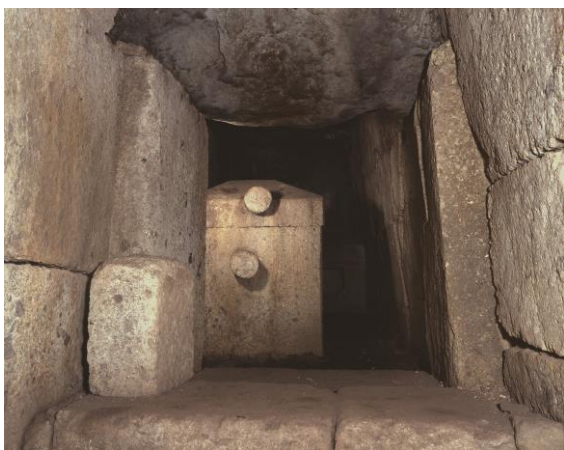
なお、指定は夏ごろの予定です。

今後の展示予定

4月17日～5月6日
東京国立博物館

6月2日～7月9日
出雲弥生の森博物館

8月3日～9月24日
島根県立古代出雲歴史博物館



上塩冶築山古墳の石室



上塩冶築山古墳出土品

2 出雲国山陰道跡の国史跡指定に係る官報告示について

昨年、国の文化審議会から答申のあった「出雲国山陰道跡」は、本年2月13日の官報告示をもって国史跡に指定されました。

いずものくにさんいんどうあと

3 新市指定文化財について

1月31日の出雲市文化財保護審議会において、下記3件の文化財を出雲市指定文化財とするよう答申がありました。これらは2月定例教育委員会を経て、2月27日付けで指定されました。

文化財指定物件（3件）

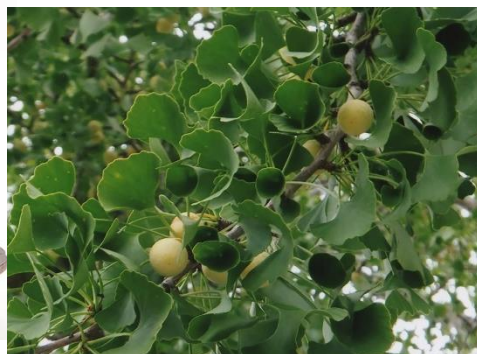
	種別	名称	所在地	概要	所有者
1	有形文化財 (彫刻)	もくぞう 木造 阿弥陀 にょらいりゆうぞう 如来立像	大社町 遙基	鎌倉時代（13世紀後半）に制作された、いわゆる「三尺阿弥陀像」で、市内2例目となる貴重な作例である。制作当初の状態を比較的良好に保つ。	宗教法人 霊山寺
2	無形民俗 文化財	からかわかぐら 唐川神楽	唐川町	唐川地区で少なくとも近世後期から舞われた神楽である。神楽台本などの史料が多く残される上、20演目が今も受け継がれる。現在は市内の他団体では見られなくなった舞台飾りや演出を残すほか、独自の衣装等も良好に保存・保持されている。	唐川 自治会
3	天然 記念物	ちさいじ 知西寺の ラッパ イチョウ	大社町 中荒木	葉の一部がラッパ状になる珍しいイチョウである。全体の1割以上がラッパ状になるものは非常に少なく、希少性が高い。また、樹齢100年前後の老木である。	知西寺



木造阿弥陀如来立像



唐川神楽



知西寺のラッパイチョウ（左：葉の拡大写真、右：全景）

【参考】指定文化財件数（平成30年3月1日現在）

市指定文化財総数：**126**件 国・県指定文化財総数：**123**件

指定文化財総数：**249**件